

大川子ども&内科クリニック INFORMATION

OCFCの 診療体制

当クリニックの診療体制について解説いたします。当クリニックの待合室には受付事務のスタッフの他に看護婦さんがいます。この看護婦さんは外国ではトリアージナース(Triage nurse)といって、患者さんの重症度を評価する役目があります。クリニックは予約順番が優先されて診療いたしますが、この看護婦さんによって重症度が高いと判断されますと優先的に診療いたします。重症度は単にお熱が高いということではありません。医学的知識と経験の上で判断しなければなりません。重症度が高いと判断された患者さんがいらっしゃいましたら、順番をちょっと譲ってあげてください。

受付けが済んで、カルテができてくると待合室で看護婦さんよりインタビューを受けます。初めて受診される方は小児科ではお誕生のことから、発達歴、予防接種歴までお聞きします。また初診者全員に家族歴、過去の病歴、現在の病歴、服用中の薬についてお聞きします。できましたら他院で処方された薬の説明書等をご持参ください。また薬剤等のアレルギー歴、小児では飲める剤型(シロップ、お粉、錠剤、カプセル、座薬等)をお聞きします。これらの情報は現在抱えている疾患についての情報と同じように重要なことです。この情報はカルテの裏表紙に記載されていつでも簡単に確認できるようにしておきます。

次に本日お越しの病状についてお聞きします。どんな症状がいつからあったのか、その程度はどれくらいかとお聞きしますので、できればあらかじめメモ書きにしていたら早く済みます。発熱についてはなるべく体温表に記入してください。(クリニック内に体温表があります)2種類以上の症状(たとえば感冒様症状とオムツかぶれ、下痢と発疹とヘルニア)などがあるときは、はじめからそれぞれについてお話しください。解熱剤や抗生薬がほしいときもあらかじめ看護婦さんにお話ください。これにより、医師は病状の把握と患者さん(家族)の要望が速やかにわかり、身体所見のとりがスムーズになります。診察時間が濃縮され待ち時間の短縮につながります。皆様のご協力をお願いします。

triage: 傷病員分類。
患者の治療優先順位を決めるための医学的ふるい分け。軍務、または災害現場の医療処置をする際に、大量の負傷者を3群に分ける。治療しても回復の見込みのない者、治療しなくても回復する者、治療しなければ致命でない最優先群。(医学大辞典より)



感染症 だより

幼稚園児を中心に現在水痘適が流行中です。4月後半は8人の方が受診され、5月も患者さんは増加しています。風疹の患者さんが1名いらっしゃいました。流行してないので抗体検査をおこない、確認しています。4月後半から激しい咽喉痛を伴う咽頭炎の患者さんも成人を中心に増加しています。

診療時間

曜日	午前9:30~12:00	午後2:00~4:00	午後4:00~6:00
月	一般(小・内)	一般(小・内)	一般(小・内)
火	一般(小・内)	乳健・予防・ア・慢	一般(小・内)
水	小児科(代診)	一般(小・内)	一般(小・内)
木	一般(小・内)	乳健・予防・ア・慢	一般(小・内)
金	一般(小・内)	乳健・予防・ア・慢	一般(小・内)
土	一般(小・内)	午後1:00~2:00 乳健・予防、午後2:00~3:00 一般(小・内)	

乳健: 乳児健診、予防: 予防接種、ア: アレルギー疾患、慢: 慢性疾患
大田区の名神線池袋駅は火・木・金の午後2:00~4:00にお越しください。検査希望の方は代表電話にて直接予約してください。

電話予約 について

当クリニック(OCFC)では患者さんの待ち時間短縮のため予約制を採用しています。できるだけ電話にて予約を取られるようお願いいたします。空き状況をお聞きの際は、かけなおして予約をお取りください。予約希望時間が詰まっている時は希望時間に近い時間帯をご案内いたします。希望時間が取れない方は直接御来院頂ければ順番にて診療いたします。慢性疾患などで十分な説明をご希望の方は電話で直接お尋ねください。

■サービスコード

項目	サービスコード	項目	サービスコード	項目	サービスコード	項目	サービスコード
小児科一般	11#	乳幼児健診	13#	2種混合	22#	おたふくかぜ	27#
内科一般	12#	健康診断	17#	麻疹	23#	日本脳炎	28#
アレルギー(食物アレルギー)	13#	検診	20#	風疹	24#	その他	29#
検診(検診)	14#	取捨	20#	インフルエンザ	25#		
予防接種	15#	2種混合	21#	水痘	26#		

予約の空き情報は40までご案内いたします。予防接種(15#)を利用の方はさらにサービスコードで希望される項目を指定して下さい。サービスコードの欄は、よろしければ9# 空いている1#まで行って下さい。

代診医師 紹介

院長は毎週水曜日午前中

東京医科歯科大学小児科外来で診療しております。また月に2回程度学会や研究会で診療をすることができないことがあります。そこで院長不在のときは代診の先生が診療を行います。どの先生も東京医科歯科大学小児科に在籍する先生方です。

大柴晃洋先生

水曜日午前診療担当、アレルギー・喘息の専門家です。4月から勤務していただいておりますが、丁寧なわかりやすい説明には定評があります。

大日向純子先生

水曜日午前診療担当、小児神経の専門家、痙攣性疾患の専門家です。熱性痙攣等でお悩みの方はご相談ください。やさしく説明してまいります。

梶原道子先生

不定期で土曜日等にいらっしゃる先生です。血液疾患の専門家です。血液以外でも何でもご存知の先生です。どんなことでも相談してください。

今井雅子先生

不定期で院長が学会出張等のときにいらっしゃる先生です。血液の専門家ですが免疫や感染症の治療にも詳しい先生です。

その他にいらっしゃる先生方に関しては次回以降に紹介いたします。なお代診の先生の場合は原則として小児の診療だけとなります。